

ふじさわ市議会だより

FUJISAWA CITY COUNCIL NEWSLETTER

令和7年
9月定例会

No. **259**

令和7年11月10日発行

Topic 1 決算内容を徹底審査 …P 2～4

Topic 2 放課後児童クラブの新設整備
補正予算を可決 …P 5

Topic 3 議員の仕事って？
小学生が議会体験 …P 16



藤沢市総合防災訓練の様子

決算を審査

こんな質問がありました



1 デジタルデバйд対策

Q 高齢者が詐欺被害に遭わないよう、安全にスマートフォンを使えるような取り組みは。
(民主クラブ)

A トrendマイクロ株式会社との連携協定による特殊詐欺・ネット詐欺被害防止に関する講習や、詐欺対策専用アプリの無償体験提供を行っており、取り組みを継続していく。

2 キャンピングカーなどの災害対応車両の活用

Q キャンピングカーの災害時活用に向けた取り組みの状況は。
(藤沢市公明党)

A 従来の1社に加え、令和7年3月に新たに1社と災害時におけるキャンピングカーの提供に関する協定を締結した。避難生活環境の改善に向け、引き続き車両の確保に努める。

3 地球温暖化対策

Q 太陽光発電補助事業の申請件数の増加に向け、申請方法の見直しも必要ではないか。
(市民クラブ藤沢)

A 手続きの煩雑さが申請を控える要因にもなっていると捉えている。令和8年度に、より簡単で分かりやすい書式へ改善し、申請件数の増加につなげたいと考えている。

4 夏休みの子どもの居場所確保

Q サマースクール事業の今後の方向性は。
(日本共産党藤沢市議会議員団)

A これまで2カ所で実施していたが、市民からの要望を受け令和8年度は3カ所で実施予定である。子どもたちが参加しやすいよう、北部中部南部と、市内全域での実施を目指す。



5 保育士不足対策

Q 無資格者を保育士に養成する育成型の募集の充実が必要と思うが、課題は。(民主クラブ)

A 保育士試験対策講座などは令和6年度からの新規事業であるため、幅広い周知が必要と考えている。



6 資源全品目の戸別収集

Q 令和7年4月から一部地区で試行中だが、全市実施に向けたスケジュールは。
(市民クラブ藤沢)

A 令和8年度に7500世帯、9年度に1万5000世帯を対象を拡大し、10年度に全市実施を行うことを計画している。



7 自死遺族支援

Q 自殺対策は、当事者はもちろん家族への支援も重要と考えるが、自死遺族が孤立しないための支援の状況は。
(民主クラブ)

A 家族会を年6回開催している。また、居住市内の会場は参加しづらい場合もあるため、近隣自治体と連携し、取り組みの充実を図る。

8 障がい者雇用

Q 障がい者雇用をさらに推進していくための取り組みを聞きたい。
(藤沢市公明党)

A 引き続き事業者訪問やセミナーの開催、障がい者就労情報の周知啓発などを行う。今後法定雇用率が上がる予定であるため、ハローワークと連携を強化し、雇用の促進に努める。

委員長からひとこと

各会派から選ばれた委員が、昨年度の市の事業が的確に市民に行き届いているか？などを審議し、来年度の予算に反映していただくよう要望をいたしました。



委員長
栗原 貴司

令和6年度決算関係議案は、決算特別委員会において6日間にわたり審査が行われ、全て可決および認定されました。

ここでは、質問・答弁の一部をお知らせします。

9 特産品である湘南しらすについて

Q 市内飲食店との連携による地域循環経済の確立について市の取り組みは。

(市民クラブ藤沢)

A 地産地消推進の観点から、食べ歩きマップ湘南しらす版を作成し、湘南しらすを使った料理を楽しめるお店を藤沢産利用推進店としてPRしている。

10 藤沢駅北口の活性化

Q 街なみ継承地区魅力向上店舗集積事業補助金への市の評価と見解は。

(湘風維新無所属の会)

A 藤沢宿らしい歴史を感じさせる店舗の出店を促すことができしており、観光誘客、商業振興に資する取り組みである。さらなる地区全体の回遊性の向上と、賑わいの創出に取り組む。

11 鵠沼海浜公園(HUG-RIDE PARK)について

Q 令和6年6月にリニューアルオープンしたが、財政的経済的な効果に対する市の評価は。

(湘風維新無所属の会)

A 財政的には約6億3千万円の縮減効果があった。また、新たな施設の整備により集客性が高まり、賑わいの創出と地域への経済的な波及効果が生まれていると評価している。

12 女性消防団員の活動拡大

Q 女性消防団員による幼児防災教育の内容と効果は。

(湘風維新無所属の会)

A 模擬の口ウソクなどを使用し劇を交え火や煙の怖さについて伝えた。幼児が自らの安全を守る能力を育成するとともに、消防団員のスキルおよび貢献意欲の向上が図られると考える。

13 部活動の地域移行

Q 令和6年度に一部の学校でモデル事業を行ったが、その結果は。

(湘風維新無所属の会)

A 生徒や保護者からは専門的な指導を受けられると満足度が高い結果である。教職員からは、働き方が改善され時間を有効に使えているとの声もある。



14 小中学校の体育館について

Q 空調設備の設置状況と今後の計画は。

(日本共産党藤沢市議会議員団)

A 令和7年度までに14校の設置が完了予定。今後は、再整備対象校を除く残り36校について、おおむね3年程度での設置完了を見込んでいる。



15 大庭台墓園の今後の墓地形態

Q 需要に合わせ、樹木葬などさまざまな形態の墓地を検討すべきと考えるが、市の見解は。

(市民クラブ藤沢)

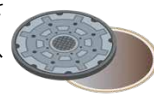
A 墓地需要に関する市民アンケートでも、樹木葬などは比較的関心が高いと把握している。大庭台墓園全体の在り方を検討するなかで、導入についても考えていきたい。

16 下水道施設の地震津波対策

Q 発災時のマンホール浮上対策の状況は。

(民主クラブ)

A 緊急輸送道路および幹線管渠からマンホール浮上診断を行っている。令和9年度までに緊急輸送道路内の全ての診断を終え、対策工事が必要な箇所は、順次工事を実施していく。



各会派の意見・要望



ここでは、決算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。

市民クラブ藤沢

将来に責任ある市政運営を目指して

審議のポイントは「令和9年度以降に増加する財政需要に耐えうる事業執行か？」であり、政策課題に適切にリーチするために事業の再編が求められる。以下具体を挙げる。①ふるさと納税による多額の市税流出への対応②藤沢駅周辺に駐輪場の増設③教育現場への防犯カメラ設置によるわいせつ事案の抑制④プログラミング講座の開催拡大⑤タイムシェア型の放課後児童クラブ導入⑥防災資機材の定期的な点検と操作訓練⑦個別避難計画の名簿取り扱いへの理解増進⑧いきいきシニアセンターの修繕⑨生活に困難を抱える若者への支援⑩資源戸別収集の早期実施⑪リサイクルプラザ藤沢の早期復旧⑫農家の光熱費高騰対策⑬喫煙ゼロを目指し医療費抑制⑭不便な公共施設予約システムの抜本的見直し⑮郷土づくり推進会議への柔軟な予算措置⑯小出川の水質汚濁改善⑰テレワーク推進など職員の業務改善⑱市民病院での献腎移植



湘風維新無所属の会

持続可能な市政運営と地域活力の向上を目指して

①市民センター駐車場は利用実態に合わせ無料時間の延長を②旧辻堂市民センター跡地は公共資産パートナーシップ提案制度（※1）の活用を③防災マップ印刷クリアファイルの学校配布を実現し家庭へのハザード情報周知を④ヤングケアラー早期発見に向け民生委員研修で情報共有を⑤愛の輪福祉基金は条件緩和で有効活用を⑥畜産業への理解促進施策を⑦少子高齢化が進む湘南ライフタウンへの人口流入施策を⑧村岡新駅周辺の工事は交通安全確保に十分留意を⑨HUG-RIDE PARKは寒川町の施設計画を見据え開園時間延長やナイター検討を



日本共産党藤沢市議会議員団

市民の声に耳を傾ける市政を！

①新予約システムは市民に寄り添い対応を②スズメバチ巣撤去事業は復活を③マイナンバーカードの積極的普及はやめるべき④窓口の民間委託はやめるべき⑤小学校給食費無償化はすぐに実施を⑥中学校給食は全員制自校方式に⑦湘南なぎさ荘・やすらぎ荘は建て替えと存続を⑧国民健康保険料は引き下げを⑨訪問介護事業所への支援を⑩平和の取り組み強化を⑪公共施設での生理用品設置の拡大を



民主クラブ

誰もが安心できる地域を築くために

①貴重な生態系の保全と回復に向け職員体制の強化を②単身世帯の高齢者などへの対応として市営住宅における保証人制度の廃止を③待機・保留児童解消のため、潜在保育士活用の加速と保育士の労働環境改善を④地域子どもの家の遊具修理のため十分な予算措置を⑤新産業の森整備は住環境の向上や安全・安心な地区の形成につながる取り組みを⑥学校侵入防止のため、職員室から遠隔で玄関を施錠・解錠できるシステムを⑦教育ローンの利子補助を廃止せず、子育て世帯への経済的支援の検討を⑧教員の負担軽減のため、管理運営費はゆとりある学校配分を⑨特別支援教育の質を確保し、介助員制度を持続可能なものとするための施策を



藤沢市公明党

安心して暮らせる優しいまちを

①高齢者外出促進パスの導入を②防犯カメラ機能付き自動販売機の増設を③小学校給食費無償化は迅速に④ヘルパー派遣などによる産後ケアを⑤蔵書管理のデータベース化で魅力ある学校図書室を⑥ご遺族手続支援窓口をワンストップ型に⑦市の健康診断項目に骨密度検査の導入を⑧手話言語条例の制定を⑨補助犬に関する医療費助成を⑩湘南看護専門学校は大学校化を⑪A I 活用で観光地の混雑緩和を⑫公共施設にデジタル地球儀の設置を



アクトティブ藤沢

災害派遣福祉チームDWA Tが活用できる体制を

能登震災関連死が死者全体の66%（444人）に。要配慮者の個別避難計画の策定2%では遅い。DWA T（※2）活用に向け福祉と災害対策でチーム組み準備急げ。



無所属藤沢

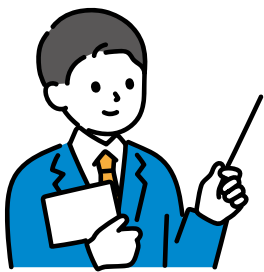
無料の市民サービスは皆さまの税金で賄われている

①来館者1人当たり7,000円以上コストのかかるアーススペースは早期にテナント退去を②1乗車1,000円以上コストのかかる高齢者福祉バスは見直しを



用語説明

- （※1）公共資産パートナーシップ提案制度…民間事業者ならではの経営ノウハウやアイデアによって、公共資産そのものの価値を向上させることに加え、その周辺の地域の発展を促すことを目的として2022年（令和4年）6月から運用を開始した制度。
- （※2）DWA T…大規模災害時に、一般避難所などにおける要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、必要な支援を行う福祉専門職などで構成するチーム。



藤沢市の



こんなことが決まりました

9月定例会では、市長提出議案29件、議員提出議案1件を審査しました。
ここでは、一部をお知らせします。

補正 予算

議案第36号

放課後児童クラブの 新設を応援します

藤沢市子ども・若者共育計画に基づき、
新設整備費用の一部を負担します。

小学校区	定員（予定）	開所（予定）
長後	60人	令和8年4月
本町	50人	
鵜洋		



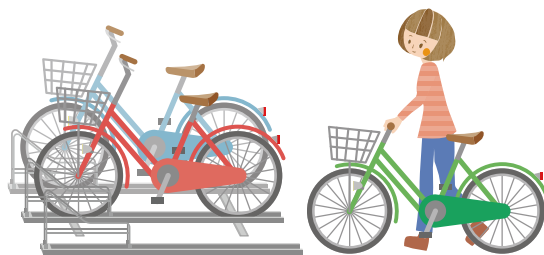
条例 改正

議案第34号

辻堂駅北口自転車等駐車場が 便利になります

機械式管理システムを導入することに伴い、
令和7年12月から入出場時間が変わります。

変更前	変更後
6:30~20:00	0:00~24:00



財産の 取得

議案第22号

避難所の生活環境を 改善します

避難所の生活環境の改善を図るため、災害
時応急給水用組立式タンクを購入します。

数量
51セット
契約金額
29,172,000円



人事 案件

教育委員会委員などが 決まりました

（敬称略）

- 教育委員会委員
種田 多化子（再）
- 公平委員会委員
佐藤 康之（新）
- 固定資産評価審査委員会委員
石川 裕一（新）、吉原 啓資（新）
- オンブズマン
服部 政克（再）
- 人権擁護委員候補者
田中 一次（再）、前田 貴美子（再）
吉田 陽子（新）、瀬崎 朝子（新）



常任委員会・特別委員会の動き

委員会は、少人数の議員で構成し、議会に提出された議案や請願・陳情、市が行っている事業や計画などの審査・調査をする会議のことです。

ここでは、委員会の審査・調査内容についてご紹介します。

2次元コードを読み込むと当日の様子（録画中継）がご覧いただけます。



建設経済 常任委員会



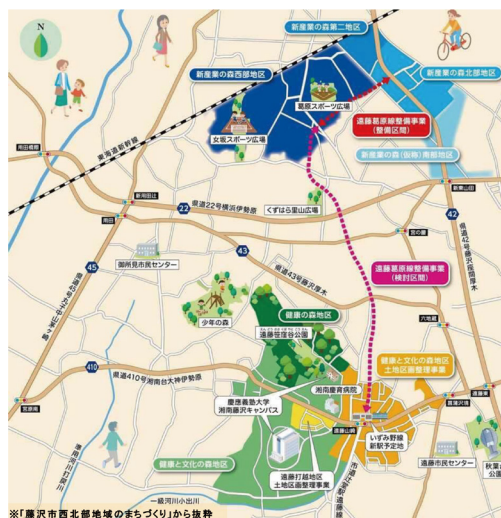
建設経済常任委員会は、9月4日に開催され、議案4件、陳情1件を審査しました。

また、①藤沢市道路整備プログラムの改定に向けた取組について、②西北部地域のまちづくりの取組について、③企業立地等支援施策の見直しについての報告を受けました。

ここに注目！

西北部地域のまちづくりの進捗状況の報告がありました

- 健康と文化の森地区整備事業では、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスとの連携強化や企業誘致に向けた取り組みなどを進めています
- 新産業の森地区整備事業では、先行して整備した北部地区に続き、第二地区について組合施行による土地区画整理事業を進めています
- 遠藤葛原線新設事業では、令和7年4月に葛原第1工区が供用開始され、葛原第2工区、遠藤工区については、道路の予備設計などを進めています



まちづくり位置図

厚生環境 常任委員会



厚生環境常任委員会は、9月5日に開催され、議案1件、陳情2件を審査しました。

総務 常任委員会



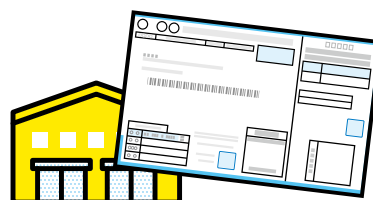
総務常任委員会は、9月9日に開催され、議案5件を審査しました。

また、公共料金の見直しについての報告を受けました。

ここに注目！

公共料金の見直しを行っています

- 受益と負担の適正化を図り、社会的公平性を確保するなどのために、公共料金（施設利用に係る使用料や証明書の発行に伴う手数料など）を見直します
- 令和9年4月（予定）の公共料金の改定に向けて、コスト分析を進め、急激な市民負担とならないように改定率を設定します



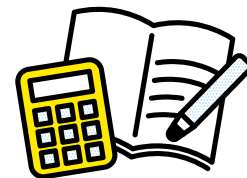
補正予算 常任委員会



9月10日



9月24日



補正予算常任委員会は、9月10日と9月24日に開催され、それぞれ議案2件、議案1件を審査しました。

災害対策等 特別委員会



※委員会の開会あいさつのみご覧になれます

災害対策等特別委員会は、8月30日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターで実施された、令和7年度藤沢市総合防災訓練を視察しました。



訓練の様子

行政改革等 特別委員会



行政改革等特別委員会は、8月22日に開催され、藤沢市行財政改革の推進についてを議題とし、藤沢市行財政改革2024実行プラン令和6年度実績についてなどを審査しました。

議会の動き

8月

- 22日 行政改革等特別委員会
- 26日 議会運営委員会
- 30日 災害対策等特別委員会

9月

- 1日 本会議（第1日）
- 3日 本会議（第2日）
広報広聴委員会
- 4日 建設経済常任委員会
- 5日 厚生環境常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 補正予算常任委員会
- 11日 議会運営委員会
広報広聴委員会
議会改革推進会議
- 16日 本会議（第3日）
- 17日 本会議（第4日）

9月定例会

9月定例会

10月

- 18日 本会議（第5日）
- 19日 本会議（第6日）
- 22日 本会議（第7日）
- 24日 本会議（第8日）
補正予算常任委員会
- 26日 本会議（第9日）
決算特別委員会
- 29日 } 決算特別委員会
- 30日 }
- 1日 }
- 2日 }
- 3日 }
- 6日 }
- 8日 本会議（第10日）
広報広聴委員会

※各本会議の日には、本会議開催前に、議会運営委員会が開催されています

議案等審議結果

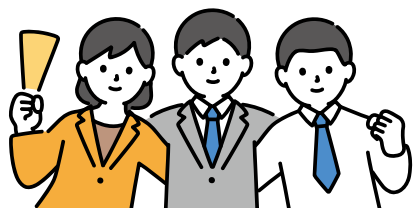
○：賛成 ×：反対 ▲：賛否が分かれる
 ー：陳情を審査する委員会（付託委員会）への委員選出なし

9月定例会に提出された議案などと審議結果は次のとおりです。

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否						
					市民ク	民主ク	湘維無	公明党	共産党	アクト	無所属
市長提出											
22	財産の取得について(災害時応急給水用組立式タンク)	付託せず	7.9.3	可決	○	○※	○	○	○	○	○
23	工事請負契約の締結について（大庭トンネル照明灯改修工事）										
24	市道の認定について（藤沢791号線ほか6路線）	建設経済	7.9.16	可決	○	○	○	○	○	○	○
25	市道の廃止について（本藤沢1280号線ほか2路線）										
26	藤沢市公告式条例の一部改正について	総務									
27	藤沢市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	付託せず	7.9.3	可決	○	○※	○	○	○	○	○
28	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について	総務	7.9.16	可決	○	○	○	○	○	○	○
29	藤沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について										
30	藤沢市市税条例の一部改正について										
31	藤沢市下水道条例の一部改正について	建設経済									
32	藤沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	付託せず	7.9.3	可決	○	○※	○	○	○	○	○
33	藤沢市犯罪被害者等支援条例の制定について	総務	7.9.16	可決	○	○	○	○	○	○	○
34	藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について	建設経済									
35	藤沢市民病院診療費等に関する条例の一部改正について	厚生環境									
36	令和7年度藤沢市一般会計補正予算（第2号）	補正予算									
37	令和7年度藤沢市民病院事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○		
38	令和6年度藤沢市下水道事業費特別会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算	7.10.8	可決および認定	○	○	○	○	×	○	○
39	令和7年度藤沢市一般会計補正予算（第3号）	補正予算	7.9.24	可決	○	○	○	○	○	○	○
40	教育委員会委員の任命について	付託せず	7.9.26	同意							
41	公平委員会委員の選任について										
42	固定資産評価審査委員会委員の選任について										
43	オンブズマンの委嘱について										
議員提出											
2	藤沢市議会会議規則の一部改正について	付託せず	7.10.8	可決	○	○	○	○	○	○	○

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否						
					市民ク	民主ク	湘維無	公明党	共産党	アクテ	無所属
認 定											
1	令和6年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算	7.10.8	認定	○	○	○	○	×	○	○
2	令和6年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算の認定について										
3	令和6年度藤沢市墓園事業費特別会計歳入歳出決算の認定について										
4	令和6年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について										
5	令和6年度藤沢市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について										
6	令和6年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計歳入歳出決算の認定について										
7	令和6年度藤沢市民病院事業会計決算の認定について										
陳 情											
24	放置自転車のマナー悪化に対する対策の強化を求める陳情	建設経済	7.9.4	趣旨 不了承	×	×	×	×	○	－	－
25	スズメバチの巣撤去業務の復活を求める陳情	厚生環境	7.9.5	趣旨 了承	×	○	○	○	○	－	－
26	藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例の検証とさらなる環境美化への体系的な取り組みを求める陳情			趣旨 不了承	×	×	×	×	○	－	－

※欠席した議員：神尾江里（9月3日の本会議を欠席）



会派構成

会派…政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、活動するグループ

会派名（省略表示）	人数	所属議員			
市民クラブ藤沢（市民ク）	11人	代 佐賀 和樹 西 智 栗原 貴司 山口 政哉	小池 恵子 桜井 直人 松長由美絵 井上 裕介	石井 世悟 町田 輝佳 石川 麻央	
民主クラブ（民主ク）	8人	代 竹村 雅夫 安田 景輔 谷津 英美	大矢 徹 須田 一行 安藤 好幸	柳田 あゆ 神尾 江里	
湘風維新無所属の会（湘維無）	6人	代 甘粕 和彦 西川 誠志	佐野 洋 友田 宗也	吉松 巳希 有賀 正義	
藤沢市公明党（公明党）	5人	代 塚本 昌紀 平川 和美	松尾 宏之 東木 久代	今井みきこ	
日本共産党藤沢市議会議員団（共産党）	4人	代 柳沢 潤次 加藤 彩野	土屋 俊則	味村耕太郎	
アクティブ藤沢（アクテ）	1人	代 原田 建			
無所属藤沢（無所属）	1人	代 森井健太郎			

（※会派内の氏名は、会派代表者を除き議席番号順。代…会派代表者）

知っていますか？

請願・陳情の制度

請願・陳情は、自分の意思を議会に伝える方法のひとつです。

12月定例会では、
11月26日（水）
正午までに提出された
ものを審査します。



会議録は、図書館、文書館、市政情報コーナー（市役所本庁舎4階）、市議会のホームページでご覧いただけます。9月定例会の会議録は11月下旬ごろから閲覧できます。

一般質問



9月定例会では、29名の議員が一般質問を行いました。
記載内容は、質問および答弁内容の抜粋・要約です。全体を確認したい場合は、録画動画（2次元コードから読み込み）または会議録をご確認ください。

一般質問の内容についてのご質問は、質問を行った議員または議会局へお問い合わせください。



9.16(火)
01

津波警報への対策について



民主クラブ
安田 景輔

Q 東日本大震災以来14年ぶりに発表された津波警報について今回の対応の振り返りと自助・共助・公助の観点で踏まえ、有事の際に市として何が重要であるか聞きたい。

A 本市の対応としては、酷暑の中での避難行動や帰宅困難者対策として、いち早く本庁舎5階および9階を開放し、帰宅困難者などの休息を確保するためのスペースを用意した。災害対応に当たり重要なことは、日頃からの備えと訓練することであるとともに、行政にも限界があることから、市民には自らの命は自らの判断で守る覚悟を持っていただくことも重要であると捉えている。その上で、自助・共助・公助がバランスよく保たれ、それぞれをさらに高めていくことが市民の安全・安心につながるものだと考えている。

9.16(火)
02

駐車場も緑に！街を彩る緑化促進



市民クラブ藤沢
町田 輝佳



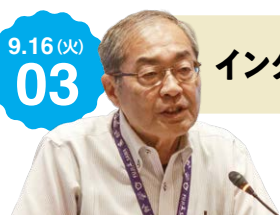
Q コインパーキングや月極駐車場をどう緑化するか？

A 駐車場緑化は、「藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」により原則500㎡以上の敷地に建築物の新築などをする際に、駐車場も敷地内緑化の一部として計上できることから、市街地の緑化に資する。現行の「緑の基本計画」では、緑豊かな街なみづくりに大きく貢献する取り組みとして、駐車場緑化を事業者の役割に位置付け促進している。現在、改定作業を進める「緑の基本計画」においても、引き続きその重要性や必要性について明確にし、市民の緑化意識の向上を図り、街の緑化につなげていきたい。



9.16(火)
03

インクルーシブ教育の推進について



民主クラブ
竹村 雅夫



Q 教育振興基本計画において、「すべての子どもたちが同じ環境で一緒に学ぶインクルーシブ教育をより一層推進することが求められています」と明記した趣旨を聞きたい。

A 本市では、市政運営の総合指針のまちづくりコンセプトのひとつに、共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち「インクルーシブ藤沢」を掲げ、まちづくりを進めており、学校教育においては、さまざまな学びの場を整え、学習環境を選択できるようにしている。こうしたことから、教育振興基本計画の教育の現状と課題の章において、全ての子どもたちが同じ環境で一緒に学ぶインクルーシブ教育をより一層推進することが、本市の共生社会の実現に向けて必要であるとの認識により記載したものである。

9.16(火)
04

骨粗しょう症の早期発見と予防について



藤沢市公明党
松尾 宏之



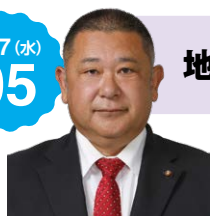
Q 本市の予防医療の充実という観点から、検診の必須項目に骨密度測定が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

A 本市では、骨粗しょう症からの骨折を防ぐため、若い世代が、無症状の段階で、骨密度を測定し予防行動に生かし、早期に治療につなげるという趣旨のもとさまざまなイベントの機会を捉え、骨密度の測定を実施してきた。骨粗しょう症検診などの実施については、一律に骨密度測定の機会を提供できることや必要な方を治療に結び付けることができるという点で有効であると考えている。今後、他市の実施状況なども調査し、対象や検査方法について医師会などと協議していく。



9.17 (水)
05

地域で育てる少年の森の運営を



湘風維新無所属の会
佐野 洋



Q 藤沢市少年の森の再整備について、意見交換を重ねてきた地域の思いや意見を反映してほしいと考えるが、今後の運営に当たっての地域や団体との連携はどのように取り組むのか聞きたい。

A プロポーザルで選定された運営・維持管理等実施予定者には、運営・維持管理計画の策定を委託し、その計画に基づいて開業準備業務を別途委託する予定である。その過程で、再整備後の運営に関する市民ワークショップなどを開催し、これまでのさまざまな意見などを含め、市民の意見やニーズを取り入れながら再整備後の運営を検討していく。そして、市民、団体、生産者や事業者などに、本施設での取り組みや活動に関わってもらい、共に育てていく施設運営を目指していく。

9.17 (水)
07

子どもと保護者の声による校則の見直しを



日本共産党藤沢市議会議員団
加藤 彩野



Q 国による「校則等の見直し状況調査」を踏まえた対応の通知では「実態に応じて、校則の見直し等が適切に行われるよう取組の推進を」とある。市内でも校則への疑問は多く寄せられている。児童生徒や保護者の声を基に、市として実態を把握し、絶えず見直すべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

A 各学校の校則の見直しについては、毎年度末の取り組みの他に、児童生徒が校則について生徒総会などで話し合う機会を設ける取り組みや、学校評価のアンケートなどで届いた保護者の声などを基に検討・見直す機会とするなどしている。引き続き、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化を捉え、時宜を得た対応を行う。



9.17 (水)
09

湘南ライフタウンの持続可能な未来を拓く



湘風維新無所属の会
友田 宗也



Q 湘南ライフタウンにおける急速な高齢化と人口減少が続く中、再生には「新たな人口流入」を促す施策を速やかに行うことが不可欠である。この必要性をどのように認識し、どのように課題感を捉えて取り組むのか聞きたい。

9.17 (水)
06

不適切な体育館利用の改善を



藤沢市公明党
今井 みきこ



Q 本市の放課後児童クラブが公共体育館を利用する際、減免はないとの説明だが、みらい創造財団の児童クラブは無料で利用し、他の児童クラブは有料であることが分かった。差をつけず全児童クラブ無料にすべきと考えるが見解を聞きたい。

A 体育館利用は全児童クラブ有料であるが、みらい創造財団の児童クラブが、当該財団が指定管理者である体育館を利用した際、内部で事務処理をしたため、利用料が支払われていなかったことが判明した。不適切であったと捉えている。

Q このようなことがないように改善すべきだが考えを聞きたい。

A 指定管理者は市に代わって施設業務を行うことから、公平公正な管理運営が求められる。今後は、管理運営状況の把握に努め、コンプライアンス遵守の徹底を指導・助言していく。

9.17 (水)
08

様々な形での地域コミュニティの創設を!



市民クラブ藤沢
栗原 貴司



Q 本市を含め全国的に自治会・町内会の加入率が低下しているが、災害時などのために、既存の自治会・町内会にとらわれず日頃から隣近所で顔が見える関係をつくっておくことが非常に大切であり、そのようなことが市民自治の在り方だと考えるが市の考えを聞きたい。

A 市としても日頃から隣近所で顔が見える関係をつくっておくことは大変重要であると認識している。自治会・町内会をはじめNPO法人やサークル活動団体など多様な地域コミュニティと顔の見える関係性をつくりながら、住民が自らの地域課題を主体的に認識し、解決策を考え、実行し、単なる住民参加にとどまらない住民が主役となるまちづくりを推進していく必要があると考えている。

A 湘南ライフタウンには、商業施設や交通などさまざまな課題があり、危機感を持って取り組む必要がある。市営住宅の空き住戸の活用を大学などと検討しており、今後は民間の集合住宅への拡大なども視野に入れていく。湘南ライフタウンには計画的に学校や公園などを配置している他、子育てを支える施設や環境が整っていることから、子育てしやすい湘南ライフタウンの認知を広げ、魅力を高めるとともに、外から選ばれ多世代が暮らすまちの実現に向けて取り組んでいく。



9.17 (水)
10

看護人材不足への対応について



市民クラブ藤沢
佐賀 和樹



Q 慢性的な看護人材不足が続いている湘南東部医療圏において、地域全体で医療・介護資源を支える体制の構築が急務であり、看護師の安定的な供給が重要であると考えている。藤沢医師会立看護専門学校への支援、そして看護人材の育成・確保に対する考え方について聞きたい。

A 高齢化の進展や医療技術の高度化・専門化などに伴い、医療・介護人材のさらなる需要増が予想されることから、看護人材の確保についても、今後一段と重要性が高まっていく。このため、人材確保に向けては、看護師の新規養成は不可欠であると考えている。看護人材不足への対応については、引き続き、医師会などと協議を重ね、看護学校の在り方や市域の看護師供給体制も含めて早急に検討を進めていく。

9.18 (木)
12

資源の中間処理施設での障がい者への必要な対策について



市民クラブ藤沢
井上 裕介



Q 資源の中間処理施設に行った際、障がい者の方々が働かれており、酷暑での労働環境の中で自分の意思を伝えることが難しいことがあり、特別な配慮が必要であると感じた。令和6年度は28件、令和7年度も8月末までに12件の熱中症が発生している中でハード面の改善が必要であると考えているが市の見解を聞きたい。

A 障がいのある方が働く作業場では、現場責任者を配置し、働く方々が熱中症にならないよう健康状態や様子に注意を払い、作業を行っていることを受託者に確認した。今後、リサイクルプラザ藤沢においては、すでに対策を講じている手選別作業エリア以外についても、現場の作業環境を改めて確認し、空調設備の増設をはじめ、必要な対策を検討していく。

9.18 (木)
14

学校における夏場の熱中症対策に緩和・工夫を



市民クラブ藤沢
石川 麻央



Q 学校から持ち帰る荷物が重く、特に夏季は児童生徒の負担になっている。熱中症対策からも工夫はできないか。また日傘は熱中症対策として有効であり、使用について広く周知すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

9.18 (木)
11

避難所におけるペットの扱いについて



湘風維新無所属の会
甘粕 和彦



Q 7月の津波警報で、避難所へ避難したペットの件数は。また災害時において、週末などの在宅率が高い日時の場合、ペットの避難も増えることになると思われるが、その対応について市の見解を聞きたい。

A ペットの同行避難については、件数は把握していないが、複数の避難所でも対応をした。ペットの同行避難の基本的な考え方については、動物が苦手な方や動物性アレルギーなどのある避難者がいることから、一定の配慮が必要であり、それぞれの避難所の実情に合わせて対応していくものと考えている。また、ペットを伴った避難者との避難者のすみ分けができるような大きな施設や避難者とペットが車中泊できる大型駐車場などを確保していくことも重要であると考えている。

9.18 (木)
13

介護職員の不足への対策について



日本共産党藤沢市議会議員団
土屋 俊則



Q 処遇改善を含め、介護職員の不足について市として独自にさまざまな手立てを講じるべきと考えるが、見解を聞きたい。

A 市独自の対策として、介護に関心を持つ介護未経験者を対象に、基本的知識を身に付けるための研修の実施や、就労者に対する取り組みとして、研修の修了者が市内の介護事業所などに6カ月以上就労した場合に、研修受講料の一部助成を実施するとともに、令和7年度は、ケアマネジャーが復職する際の研修に係る受講料の助成制度を新設した。さらに、介護従事者の負担軽減と効率的な介護事業所の運営を図るため、事業所間のデータ連携などを活用した介護現場の生産性向上の取り組みを実施している。今後も、より効率的な支援の在り方について検討していく。

A 登下校時の教材の持ち運びは身体の健やかな発達に影響が生じないように、各学校で適切に配慮しており、特に夏場は熱中症予防の取り組みの一つになると捉えている。日傘は熱中症対策に有効な手段であるが、視界が狭まるなど安全への配慮も必要のため、家庭および子どもへ日傘をさす際の指導を行っている。これまでも登下校時における熱中症対策を周知しているが、日傘の使用を含め、本市立学校における熱中症事故防止のための取り組みの重要性を各学校に周知していく。

9.18(木)
15

終活の社会化と公的支援に向けて



民主クラブ
神尾 江里



【おひとりさまも安心】頼れる身寄りのない高齢者などへの身元保証や、日常生活支援、死後事務手続きなど終活支援体制の整備を強く求めてきたが、本市の検討状況は。

福祉部を中心に関係課と連携し、身寄りのない高齢者などの悩みを受け止める相談支援窓口の設置や、緊急連絡先などを市がお預かりする情報登録制度および葬祭業者と連携した生前の葬儀契約について早期の導入を目指し検討を進めている。

市営住宅に入居する際の保証人制度は廃止すべきでは。

今後の保証人制度の在り方については、国における検討状況などを注視するとともに、福祉部の支援施策と連携することも視野に入れ、研究していきたいと考えている。



9.18(木)
16

スポーツ施設再整備の今後の取り組みは？



市民クラブ藤沢
桜井 直人



スポーツ施設再整備検討に係る基礎調査と各施設劣化度調査の結果を踏まえ、市内施設にはどのような課題があるか。

本市の主要なスポーツ施設は、いずれも老朽化と維持管理費の課題がある。また、基礎調査結果から、中規模以上の施設数が少なく、利用率が95%を超えるものもあり、予約が取りにくい状況も課題であると捉えている。

特に秋葉台運動公園の再整備は、西北部地域の開発・鉄道延伸の呼び水となるような魅力的なものにすべきと考えるが、スポーツ施設再整備計画の作成を今後どのように進めるか。

令和8年度以降、施設全体の基本構想策定を計画している。策定においては、市民ニーズを捉え、地域の特徴や資源などを生かしたスポーツ環境の整備を目指し進めていく。

9.19(金)
17

時代に沿った出資団体改革を



無所属藤沢
森井 健太郎



出資団体が実施している事業の中には、民間企業が行えばよいのではない、あるいは、わざわざ出資団体をつくってそこに委託しないでも、直接市がやればよいのではない、などと思うものがある。社会情勢の変化による事業への民間参入、コストを踏まえると、設立目的が希薄化してきた出資団体も存在するのでは。

近年、民間事業者による行政分野への参入が増加するなど、出資団体を取り巻く環境は変化しており、各団体の設立目的を踏まえ、より公益性や公共性の高い事業の実施が求められている。本市でも、課題のある出資団体もあると認識しており、引き続き、団体自らが、社会情勢の変化に対応した主体的な取り組みを行うよう、出資者として適切に指導していく。

9.19(金)
18

医療的ケア児の保育所受け入れ促進を



湘風維新無所属の会
西川 誠志



保育所への受け入れ拡大に向けて、医療的ケア行為の動画を用いる研修が医療的ケア児の理解に有効ではないか。

これまで医療的ケア児を育てる保護者の話や施設の事例報告を研修に活用してきた。医療的ケア行為の動画の活用も含め、より実践的な研修内容を検討していく。

保育士が喀痰吸引(※)の研修を受講しているものの、実際に対応したケースがないと聞いている。いざという時に困るため、積極的にトレーニングをしてはどうか。

保育所に配属された看護師の指導の下、安全を確保した上で担当保育士が喀痰吸引などのトレーニングを重ねることは、医療的ケア児保育の危機管理上、重要なことと認識しているため、今後実施していきたい。

9.19(金)
19

加齢性難聴には積極的な支援を



藤沢市公明党
東木 久代



豊島区では、早期発見・専門医への受診勧奨・フォローアップを一連としており、本市もこの取り組みをより積極的に実施しては。

本市では、イベントや啓発資料などによる周知に努めるとともに、令和7年度新たに、個別相談会の開催を計画している。今後も、アプリの活用を含めた効果的な周知方法を検討する。

聞こえを補助する機器を多くの窓口に設置しては。

先進市や県内他市の取り組みも参考にしながら、機器の情報収集や効果的な使用方法などについて検討する。



用語解説

(※) 喀痰吸引…自力で痰の排出が困難な人から、吸引器を使って口、鼻、気管などに溜まった痰を吸い出す医療的ケア。

9.19(金)
20

「GREEN×EXPO 2027」を生かしたまちづくり



市民クラブ藤沢
石井 世悟



- Q 2027年国際園芸博覧会(※1)が横浜市瀬谷区で再来年3月から半年間開催されるが、近隣市である本市もこの好機を生かした取り組みをするべきだと思うが見解を聞きたい。
- A この博覧会では、地球温暖化につながる温室効果ガスの排出を抑制し、脱炭素社会を目指しながらも経済的な成長を目指す「GX社会」への変革を意識した展示などが行われる。本市が進める自然を生かしたまちづくりを国内外に広くPRする好機と捉えている。本市の貴重な資源である水産業をはじめとする海洋環境を持続可能なものとするためのサイクルの構築を目的に、江の島近海での藻場再生に係る取り組みを「海の園芸」として出展を予定している。地域の関係団体とともに、本市が目指すGXの取り組みを一層進めていく。

9.19(金)
22

ワクチン接種記録の情報提供について



市民クラブ藤沢
小池 恵子



- Q 新型コロナワクチンに係る健康被害救済制度の認定数9265件、死亡認定数1031件、副反応疑い死亡報告2295件と過去最大の健康被害が起きている。そのため全国では各自治体が行っている接種歴と死亡歴の情報公開請求が行われ、現在68の自治体で情報提供している。本市も情報公開し接種後の副反応についてしっかり検証することが望ましいと考えるが市の見解を聞きたい。
- A 現在本市では予防接種記録には住民基本台帳に記録された死亡日の情報がない。また、個人情報保護などの点から情報提供は慎重に対応すべきと考える。接種に係る検証は国が実施することが望ましいと考えており、ワクチン接種後の副反応に係る調査などの実施を国へ要望していく。

9.22(月)
24

市民の安全・安心を守るPFAS汚染防止対策



日本共産党藤沢市議会議員団
味村 耕太郎



- Q 有機フッ素化合物(PFAS)(※4)の人体への影響を聞きたい。
- A PFASの中には、発がん性の他、肝臓、脂質代謝、生殖・発生、免疫などへの影響が報告されているものもあるが、食

9.19(金)
21

子どもの発達のために公園対策を



藤沢市公明党
平川 和美



- Q 公園の遊具は強い日差しで熱せられると表面温度が60度から70度以上になる。遮熱効果のある遊具の導入や遮熱効果のある塗料を塗るなど対策について状況を聞きたい。
- A 今年度から遮熱効果のある塗装の実証実験を開始しており、塗装が劣化した遊具の手すりや、床の部分に塗装をした。今後、効果や課題を検証し、費用対効果も含め検討を進める。
- Q 公園トイレ周辺への防犯カメラ設置を望む声が多くある。防犯上の観点から防犯カメラは有効と考えるが見解を聞きたい。
- A これまでは個人情報保護の観点から設置が困難だったが、個人情報保護に関する全国的なルールが定められ、公共施設への設置が比較的容易になったことから、今後、トイレのある公園を含め設置に向けた検討を進める。

9.22(月)
23

奇跡のぶどうメイヴのワイン醸造を支援



藤沢市公明党
塚本 昌紀



- Q 藤沢固有の品種であるメイヴを使ったワイン事業の支援について、メイヴと本市の関係、またワイン特区(※2)申請の目的・申請時期を聞きたい。
- A メイヴは耐病性に優れ、無農薬で栽培できるなどの特性があるため、耕作放棄地(※3)の解決策の一つとして本市でも社会福祉法人光友会など複数の生産者が栽培している。本市ではメイヴ以外にもさまざまなワイン用ブドウを栽培しており、生産者はワイン特区を活用した小規模醸造施設の建設を目指している。また、生産者の市内3法人は、令和8年度後半から9年度にかけて醸造免許の取得を予定していることから、本市としても8年度中のワイン特区認定を目指している。



品安全委員会のPFASの食品健康影響評価書において、一部可能性は否定できないものの、関連について証拠は不十分であると判断されている。

- Q 過去に神奈川県内の米軍基地からPFASが流出した。こうした事態が発生し、農水産物などからPFASが検出された場合、補償と対策を行うよう米軍に要求すべきだがどうか。
- A 本市の公共用水域などから高濃度のPFASが検出された場合、仮に発生源が厚木基地と特定されたときは、関係部局・機関とも連携して必要な措置を講じるよう、要求する。

用語解説

(※1) 国際園芸博覧会…国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催される国際的な博覧会のこと。

(※2) ワイン特区…果実酒製造業に参入しやすい区域のこと。果実酒などの製造免許を取得するには、最低製造数量基準として年間6キロリットル以上の製造量が必要とされるが、ワイン特区ではこの基準が2キロリットルに緩和される。

9.22 (月)
25

令和8年度から 小学校給食費無償化の方針



民主クラブ
須田 一行



Q 本市は、令和8年度からの小学校給食費無償化の実施を目指すとしていたが、市の独自財源で措置していくのか。それとも国の財源措置を待つのか。

A 国は、令和8年度予算の編成過程において給食費無償化を実現するという方針を、7年6月13日の「経済財政運営と改革の基本方針2025」(骨太の方針)で閣議決定した。また、7年8月8日に神奈川県内の普通交付税不交付団体である9市町は、文部科学省に対し、全国一律で給食費無償化を実施する場合は、普通交付税によらず、国の責任において全額国費で財源措置する旨の要請をした。本市としては、学校給食費の無償化について、国の動向を注視するとともに、健全な財政運営に努めながら適切に対応していく。

9.22 (月)
26

国会茶番劇下での 夏休み市政課題



アクティブ藤沢
原田 建



Q 在宅で熱中症により救急搬送された方のエアコン使用状況は。

A 令和7年5月から8月末までに搬送した42人のうち、19人が使用、18人が未使用、残り5人はエアコンの設置が確認できなかった。

Q 地震・津波発生時、徒歩での避難を原則とし、車両での避難は実施しないとしているが避難行動要支援者はどうするのか。また、7年7月30日の津波警報発表時、踏切の遮断機が一定時間下り続けていたと聞いたが、今後の市の考えは。

A 避難行動要支援者の災害時の避難は、車両による避難も可能と案内している。今後は、各鉄道事業者と災害発生時の連絡体制や迅速な情報共有が図れるよう日頃からの連携を強めていく。

9.22 (月)
27

処分庁として謝罪と遡及支給を



日本共産党藤沢市議会議員団
柳沢 潤次



Q 「生活保護基準引下げ処分取消等請求訴訟」の最高裁判決について、原告は生活保護基準引き下げ前に遡り、その差額を支給するよう要望している。処分庁である本市は、原告の要望をどう受け止めているか。

A 本市をはじめ7自治体を当事者とする訴訟は継続中であるが、今回の最高裁と同様の趣旨であることから、司法の最終的な判断を真摯に受け止めている。

Q 原告からの謝罪と遡及支給の要望に対し、本市はどのように対応するのか。

A 社会保障審議会生活保護基準部会の下に設置された専門委員会での議論の内容を注視するとともに、国の判断を踏まえ、適切に対応していく。

9.24 (水)
28

藤ヶ岡中の夜間照明設置 秋葉台の人工芝の張り替えを



市民クラブ藤沢
西 智



Q 藤ヶ岡中学校の夜間照明は約20年間稼働を休止しており、地域から再稼働を求める声強い。健康づくりや地域スポーツの拠点として、早期稼働をすべきと考えるが、市の見解は。

A 地元住民からの声を受け止め、充実した安全・安心なスポーツ環境の整備を推進するため、藤ヶ岡中学校夜間照明設備の再稼働に向け、検討を進めたい。

Q 秋葉台公園球技場の人工芝は設置から13年が経過し劣化が進んでいる。スポーツ活動の安全性と快適性を確保するため、早期の張り替えが必要と考えるが、市の見解は。

A 人工芝張り替えは、財源確保に努め、安全で快適に使用できるよう、スピード感をもって整備に向けた調整を進めていく。



9.24 (水)
29

子どもの権利の支援充実を



民主クラブ
谷津 英美



Q 子どもに関する虐待・いじめ・不登校・自殺の増加が深刻である。市の調査結果から、大人に相談できない子どもの存在が判明したが、支援制度などの周知が足りないと思う。

子どもにも分かりやすく、簡単にアクセスできるような市のホームページを検討しては。

A 子ども・若者が意見表明しやすい環境整備をはじめ、子ども向け情報提供のモデルとなるよう、藤沢市子ども・若者共育計画(やさしい版)を作成している。子どもの年齢などの発達段階に合わせた表現が必要になるため、子どもに直接関係する施策を中心に、子ども目線で分かりやすい子ども向けホームページの作成などを検討する。



用語解説

(※3) 耕作放棄地…農家などへの調査で「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する意思がない」とされた土地。

(※4) 有機フッ素化合物(PFAS)…主に炭素とフッ素からなる化学物質で、ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物のこと。1万種類以上の物質があるとされている。撥水・撥油剤、界面活性剤など幅広い用途で使用されている。

市議会議員って なにをしてるのかな?



8/21(木)

明治市民センター主催事業「明治お仕事体験」
に広報広聴委員会委員が協力しました。
参加した小学生は議員との意見交換や議場での
議会体験を行いました。



議員と
話そう!

第11回カフェトークふじさわ
ポスター作成へのご協力
ありがとうございました



詳細はこちら



市内中学生が作成しました!!

議会を
傍聴
しませんか

傍聴をご希望の方は、会議の日
時をご確認の上、議会局へお越し
ください。

ヒアリンググループ
手話通訳・要約筆記
あります



次の定例会は



12月1日(月)～
12月22日(月)

点字と声の議会だより
お届けします

【お問い合わせ】
議会局議事課
TEL 0466-50-3566(直通)



議会だよりの
感想をお寄せください

分かりやすく、手
に取りやすい紙面
を目指しています。



2次元コードの読み取りに不安がある方は、遠慮なく議会局へお問い合わせください。

【お問い合わせ】議会局議事課 TEL 0466-50-3566(直通)